

■ ワイヤレス IP アクセスシステム (WIPAS) 機能高度化版

2004年(平成16年)

ワイヤレス IP アクセスシステム (WIPAS) ステップ2のさらなる適用領域の拡大を目的として、次の機能高度化および施工技術の改善を行いました(図)。

- ① 無線区間の伝搬状態に応じて加入者局 (WT : Wireless Terminal) ごとに変調方式を切り替えることによって 46Mbit/s のピーク速度を維持したまま伝搬距離を拡大するための「適応変調方式」
- ② ベストエフォート型の一般ユーザと、企業ユーザ、ヘビユーザ等の共存を可能とするための「最低帯域保証機能」
- ③ 企業ユーザやホットスポットサービスのエントランス回線等に適用可能な「P-P 通信方式」および「P-P 通信方式の遠隔監視制御機能」
- ④ 航空写真などの情報がない場合に、簡易に建物や樹木の3次元データを追加できるようにした「置局設計ツールの高度化」
- ⑤ WT の施工時間の短縮、設置領域の拡大を図るための「屋内引込みの簡素化」、「WT 用支持金物の小型・軽量化」、「WT 防水工法の改善」

WIPAS ステップ2 経済化・機能高度化版は、2004年度に商用化されました。

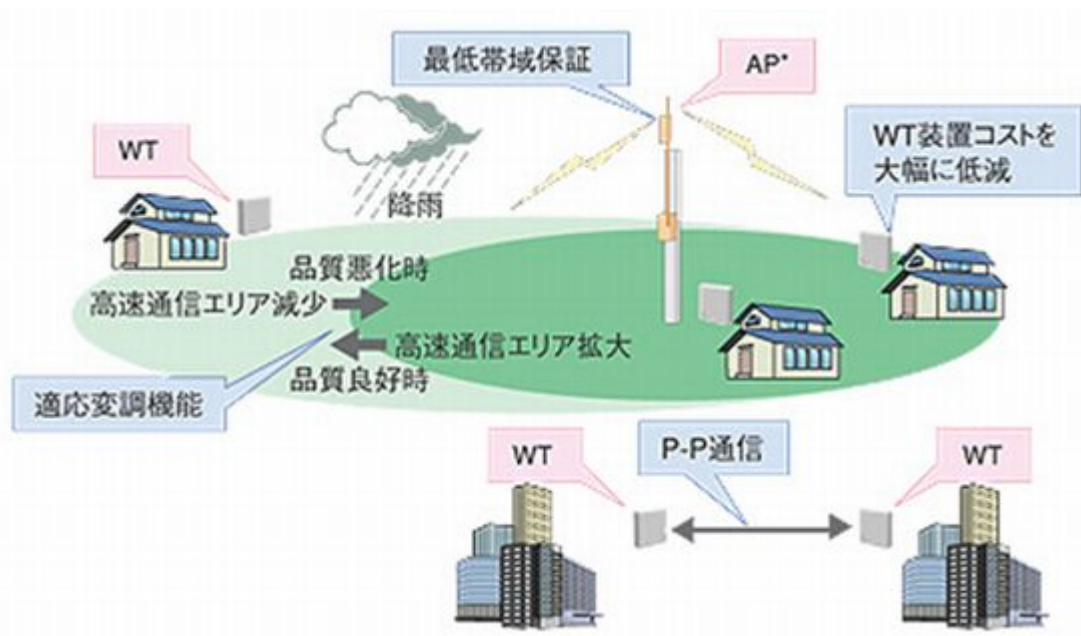


図 ワイヤレス IP アクセスシステム (WIPAS) 機能高度化版の概要